

1. インストラクター検定

資格種別	種 目	斜 面	実技の内容	評価の基準	受検資格	受検料	公認料	年次登録料
インストラクター	実践種目			・検定員は本連盟普及員又はデモンストレーター1名とインストラクター2名の合計3名	・受検時に21歳以上であること	5,000	5,000	5,000
	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン	・検定員は2年以内に連盟主催の研修会出席者	・JGSF会員であること			
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズムカルなショートターン	・1種目最大100ポイント×8種目	・アシスタントインストラクター取得者			
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン	・取得ポイントは3名の平均で小数点第1位を四捨五入	・アシスタントインストラクター取得の次年年度以降である			
	ゲート滑走（8～10ゲート）	緩～中斜面	ゲートの設定に配慮したスムーズなミドルターン	・640ポイント以上が合格（80％以上）	・本連盟より特別に推薦を受けたもの			
	指導種目			・繰り上げ合格は3ポイント以内で認める	・1.5時間以上の事前講習の修了者			
	ワイドスタンスターン	緩～中斜面	伸ばし荷重を活用した完成度の高いターン	・検定員は2年以内に連盟主催の研修会出席者				
	クローズ&ワイドスタンスターン	緩～中斜面	伸ばし荷重を活用しターン弧を確実にコントロールしたターン	・取得ポイントは2名の平均で小数点第1位を四捨五入				
	シュテムターンからパラレルターンへの展開	緩～中斜面	徐々に内スキー操作を早めてパラレルターンへ展開する	・実践種目280ポイント以上が合格（70％以上）				
	スケーティングターン	緩～中斜面	内脚への重心移動とリズムカルなステップを活用したターン	・指導種目300ポイント以上が合格（75％以上）				
アシスタント インストラクター	理論適正			・繰り上げ合格は指導種目の2種目以上が合格に満たない場合は認めない		5,000	3,000	4,000
	設問10題の記述式による解答		グラススキーの特長・その他指導に必要な知識から出題	・理論適正は70％以上の適合により合格とする				
	実践種目			・検定員は本連盟普及員又はデモンストレーター1名とアシスタント又はインストラクター1名の合計2名	・受検年度に18歳以上であること			
	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン	・検定員は2年以内に連盟主催の研修会出席者	・JGSF会員であること			
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズムカルなショートターン	・1種目最大100ポイント×8種目	・級別テスト1級取得者			
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン	・取得ポイントは2名の平均で小数点第1位を四捨五入	・本連盟より特別に推薦を受けたもの			
	ゲート滑走（8～10ゲート）	緩～中斜面	ゲートの設定に配慮したスムーズなミドルターン	・実践種目280ポイント以上が合格（70％以上）	・1.5時間以上の事前講習の修了者			
	指導種目			・指導種目300ポイント以上が合格（75％以上）				
	ワイドスタンスターン	緩斜面	伸ばし荷重を活用した完成度の高いターン	・繰り上げ合格は3ポイント以内で認める				
	クローズ&ワイドスタンスターン	緩斜面	伸ばし荷重を活用しターン弧を確実にコントロールしたターン	・繰り上げ合格は指導種目の2種目以上が合格に満たない場合は認めない				
アシスタント インストラクター	シュテムターン	緩～中斜面	外スキーの正確な開きだしとターン後半内スキーの引き寄せによるターン	・理論適正は70％以上の適合により合格とする				
	スケーティングターン山回り 左右	緩斜面	内脚への重心移動を伴うステップ動作によるターン	・合否判定は実技と理論の双方の合格により判定				
	理論適正							
	設問10題の記述式による解答		グラススキーの特長・その他指導に必要な知識から出題					

2. ハイレベル検定

テスト種類	種 目	斜 面	実技の内容	評価の基準	受検資格	受検料	公認料	年次登録料
GSスプリーム	パラレルターン ロング	緩中～急斜面	状況に対応した正確でハイスピードなロングターン	・1種目最大100ポイント×4種目	・GSEキスパート取得者	4,000	3,000	JGSF会員であること
	パラレルターン ショート	緩中～急斜面	状況に対応した正確でハイスピードなショートターン	・取得ポイントは3名の平均 小数点第1位を四捨五入	・年齢制限は設けない			
	パラレルターン ショート（リズム変化）	緩中～急斜面	状況に対応したリズム変化（3回以上）を伴うショートターン	・360ポイント以上が合格（90％）				
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したハイスピードでリズム変化を伴う総合ターン					
GSEキスパート	パラレルターン ロング	緩中～急斜面	状況に対応したハイスピードなロングターン	・1種目最大100ポイント×4種目	・1級取得者	3,500	2,500	JGSF会員であること
	パラレルターン ショート	緩中～急斜面	状況に対応したハイスピードなショートターン	・取得ポイントは2名の平均 小数点第1位を四捨五入	・年齢制限は設けない			
	パラレルターン ショート（リズム変化）	緩中～急斜面	状況に対応したリズム変化（2回以上）を伴うショートターン	・340ポイント以上が合格（85％）				
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したハイスピードでリズム変化を伴う総合ターン					

※検定員について、1名は本連盟普及員（デモ経験者等）又はデモンストレーター 1 名以上とインストラクター又はアシスタントインストラクター合計3名で構成する

3. 級別テスト

テスト種類	種 目	斜 面	実技の内容	評価の基準	受検資格	受検料	公認料	年次登録料
1級	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン	・検定員2名（1名はアシスタント可）による判定テスト	・2級取得者	3,000	2,000	JGSF会員であること
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズムカルなショートターン	・1種目最大100ポイント×4種目	・年齢制限は設けない			
	シュテムターン	緩～中斜面	外スキーの正確な開きだしとターン後半内スキーの引き寄せによるターン	・取得ポイントは2名の平均 小数点第1位を四捨五入				
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン	・280ポイント以上が合格（70％）				
2級	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応した安定感のあるロングターン	・検定方法は1級に準ずる	・年齢制限は設けない	2,000	1,500	
	パラレルターン ミドル	緩～中斜面	状況に対応したコントロールされたミドルターン	・1種目最大100ポイント×4種目				
	クローズ&ワイドスタンスターン または シュテムターン	緩～中斜面	運動特性に応じ、受検者がどちらかを選択して滑走する	・260ポイント以上が合格（65％）				
	総合滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン					
3級	パラレルターン ロング	緩斜面	状況に対応した安全なバランスのロングターン	・1種目最大100ポイント×2種目	・年齢制限は設けない	1,500	1000	
	クローズ&ワイドスタンスターン または シュテムターン	緩斜面	運動特性に応じ、受検者がどちらかを選択して滑走する	・120ポイント以上が合格（60％）				
4級	ワイドスタンスターン（リズム変化）	緩斜面	リズム変化を伴うワイドスタンスターン	・最大100ポイントとし55ポイント以上が合格	・年齢制限は設けない	1,500	900	
5級	ワイドスタンスターン	緩斜面	バランスを保持しながら連続して方向を変える	・最大100ポイントとし50ポイント以上が合格	・年齢制限は設けない	1,500	800	

※3・4・5級は検定員1名（アシスタント可） 判定テスト・講習内テストのどちらでも可とする